

市政に問う!

7人が
登壇

いっぱん質問

勝目保育所の名称は

市長／市民から募集する



深町 幸子 議員

名称を募集する。

応募期間は9月28日から11月26日までで、要項、用紙を9月の市報で配布する。

避難支援対策の

進捗状況は

市長／登録者台帳の整備を進める

深町 総務省は、災害時

要援護者の避難支援対策として、平成21年度までをめぐに、市町村において避難支援の取組方針などを策定するよう促進している。近隣市では、平成21年3月31日現在、枕

崎市、指宿市、南さつま市が策定済みである。本市は策定中となっているが、現在の進捗状況を問う。

市長 登録者台帳については、10月中旬に登録申請

その他の質問
・市総合防災訓練の内容など



建設中の（仮称）勝目保育所



東 兼喜 議員

塗木公園整備の目的は

市長／地域内の交流や憩いの場として活用する

東 事業目的と事業費の概要を示せ。

市長 地域住民の活動及び交流の促進を図るため、池の護岸工、遊歩道、駐車場、多目的広場、東屋1棟を整備する。総事業費は、4362万7千

市民の声を

農道整備の方策を示せ！

市長／環境に配慮した整備を図る

竹迫 農業を取り巻く環境は厳しいものがある。そういう中で生産基盤の整備は急務と思う。中でも農道整備は重要である。

今後の農道整備をどのように進める考えか。

市長 農業振興を図る上で生産基盤の整備は重要であり、今後の農道整備は環境に配慮した整備を図っていききたい。



竹迫 毅 議員

竹迫 経済危機対策事業で、空港道路と塩屋地区農地開発幹線道路は、法面の張りコンクリートを2600万円で整備するようになっているが、仮に農道舗装をした場合、どの程度整備できるか。

耕地課長 幅員4メートルで一般的には650メートル、防塵舗装では2600メートル整備できる。

竹迫 草払いを年間50万円で計算すると2600万円を50年以上実施できる。張りコンクリートは、生コン、建設業者は喜ぶと思うが、法面は草払いで対応すべきである。



雑草が繁茂している空港道路



塗木農村公園の完成予定図

円である。

東 周辺の生態系や水質調査結果を示せ。

市長 本格的な調査は、実施していないが、生態系に配慮した計画である。

東 完成後の活用や、維持管理はどうなるか。

市長 塗木などの花まつりと同様に、地域住民のふれあい活動や憩いの場と

して活用し、維持管理は塗木自治会にお願いする予定である。

市道用地取得を図れ

市長／事情に応じた対応を検討する

東 用地交渉の難航などにより、市道に危険箇所が多く見られる。

市長 法面は草払いをして自然に管理するのが一番と思う。自然な形で機

能が保てるよう内部協議をしていきたい。

今後の対処方法を示せ。

市長 協力が得られず未整備のままである。事情に応じた対応を検討し、地権者の協力をお願いしていく。

マリンゾーンの振興策は

市長／関係者と協議し整備を進める



今吉 賢二 議員

今吉 総合計画に、マリ
ンゾーンが位置付けられ
ているが、実施した事業
などと効果を問う。

市長 本市のマリンゾー
ンは、海に面した海岸部
であり風光明媚な景観を
有し、訪れる人に感動を
与えてくれる。漁業の振
興では、漁獲資源の確保
に向けたマダイ、ヒラメ
の稚魚の放流、イカ柴投
入事業など実施してい
る。また本年度は、大川
漁港の浚渫工事も計画し
ている。

今吉 額娃地域は番所鼻
公園、地引き網もできる
砂浜、瀬平公園など、景
観のすばらしい所があ
る。瀬平公園については、

観光バス用の駐車場、農
産物など販売する施設を
整備する考えはないか。
市長 総合計画が本年度
から本格的にスタートし
ており、着手はこれから
である。今後、関係者と
協議しながら整備を進め
ようと考えている。

生活交通バスを 無料に

市長／全体的に検討する

今吉 65歳以上の生活交
通バス利用者について
は、無料とする考えはな
いか。

市長 今、試行期間であ
り皆さんの御意見を聞き
ながら全体的に検討して
いく。



大野岳からマリンゾーンを望む

川辺火葬場事業の 方向性を示せ

市長／広く意見を聞きながら
取り組む



森田 隆志 議員

森田 川辺火葬場は、老
朽化が進み施設の補修や
改築など検討する時期に
きている。今後、既存施
設の改築か南薩地区衛生
管理組合へ施設使用をお
願いするか、事業の方向
性を示す必要があるが、
どのように取り組む考え
か。

市長 川辺火葬場は、平
成19年度から南薩地区衛

生管理組合へ加入してい
る。

築32年が経過しており
老朽化が著しく、火葬炉
は4、5年で使用できな
くなるおそれがあるが、
可能な限り延命化を図っ
ていきたい。

森田 将来は、南薩地区
衛生管理組合で事業が行
われるか。

市長 市の火葬場が、額
娃にあるのでそこを利用
したい。

森田 それは、衛生管理
組合を脱退することであ



老朽化が著しい川辺火葬場

り、行政改革に逆行する
ことになる。額娃の施設
を含めた管理組合を目指
すべきである。

川辺火葬場は組合に加
入しており、地区民が納
得するよう十分議論をす
る必要がある。

市長 大事なことである
ので、慎重にいろいろな
人の意見を聞きながら取
り組んでいきたい。

その他の質問

・住宅政策

農商工連携への取り組みは

市長／側面から支援し、地域活性化に努める



蔵元 慎一 議員

蔵元 国では昨年、農商工等連携促進法を施行し、地域経済の活性化に支援策を示しているが、市はどのように取り組む考えか。

市長 農業は農産物などの価格低迷、生産資材の高騰など厳しい経営環境であるが、農商工の三者が、お互いの技術やノウハウを持って連携するこ

とは非常に難しい。今後は、農商工連携の制度について広く周知し、利便な補助制度や融資制度を活用できるよう、市も側面から支援し、地域の活性化に努める。

産学官連携でソフト的分野の高揚を
市長／関係機関と連携し、進めていく

蔵元 市の基幹作物であるお茶が低迷している



産学官連携が求められている茶産業

が、今後、品質管理、流通、高付加価値商品の開発など専門的研究が重要と考える。産学官連携を推進し、ソフト的分野を高めていく考えはないか。

市長 学術的には、お茶の効能など研究が進んでいるが、生産現場で活かされていない。今後、産学官連携を進め、消費者のニーズを十分把握し、関係機関と連携して農家所得の向上に努めたい。



菊永 忠行 議員

菊永 市道の草払い、軽微な舗装補修、側溝清掃などの維持管理を市職員、臨時職員合わせて35人で行っているが、維持管理は十分と考えるか。また、作業中の事故防止策を示せ。

市長 21年度からは、草払いを中心に、軽微な舗装補修、側溝清掃などの維持管理を市道延長を踏まえて35人の作業員を配置したが、地域の要望に必ずしも応え切れない状況である。

今後は、さらに効率的な維持管理の方策・体制について、検討を行っていく。

事故防止策として、作業中看板の適正箇所への配置やスコッチコーンによる作業範囲の囲い込みなど事故防止に対する意識の喚起と、班長による

市道・農道の維持管理対策を示せ

市長／効率的な方策・体制を検討する

監視体制を強化し、防護ネットを併用して作業を行う。

また、交通量の多い国道、県道、市道については、通行車や作業員の安全に配慮し、専門の交通警備員を配置していく。

農道については、合併時に維持管理方法を統一

し、基本的に受益者において、基本的な砂利や生コンなどの原材料については、市が支給している。

受益者でできない箇所については、市が事業委託や市単独工事などで対応していく。



市道の草払いを行う作業員